



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
「大六スタンダード」学習規律の定着 主体的に伝え合う授業の実践 算数習熟度別少人数指導(2～6年) 英語活動・IT指導の充実 体験活動・言語活動の充実 ICT活用の推進 (電子黒板・PC・実物投影機・タブレットPC等) ・学習サイクルの定着 (めあて→学習活動→まとめ・振り返り)	年間指導計画の工夫 学校行事計画の工夫 週時程の工夫 読書月間・旬間(10月)(2月) 図書館活用年間計画の工夫 なわとび旬間 クローバー遊び ペアスランニング月間 外国語活動(1～4年) あいさつ週間	主体的に自己の生き方を考える児童の育成～伝え合う道徳授業を目指して～年3回の授業研究 職員研修内容の重点化(アレルギー対応) 組織的な指導力の向上 課題探究型の学習の推進 地域との連携 区・都研究会への参加 研修報告の場の設定 OJT研修会(週1回)	講師・各教員が連携し評価の共通理解を図る 小テストの工夫 ポートフォリオ等個々の学習経過の記録 学習の振り返りの工夫 学校評議員・保護者・児童による意識調査	お手伝い・ボランティア 地区班別集団登下校 自転車点検・安全教室 道徳授業地区公開講座 セーフティ教室 薬物乱用防止教室 地域の施設・自然・人材等活用(野菜栽培・地域安全マップ) 南大泉図書館との連携による図書館活用の推進 保育園と連携した学習 家庭支援センター・警察・消防署 地域活動支援拠点・小中連携 子供家庭支援センターとの連携	大泉中学校、大泉小学校、大泉東小学校との4校での校区別協議会を通して、学習指導、生活指導について、情報交換をしていく。中学の学校紹介などの交流活動を行う。 課題改善カリキュラムの活用